

施 策 評 価 シ ー ト（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	4-2	政策名	参画・協働のまちづくり	政策の 目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています	施策 主管課	地域づくり課	施策主管 課長名	久保田 留美子
	施策No.	1	施策名	市政への参画・協働機会の拡充	施策の 目指す姿	市政に関心を持って積極的に関わっています	関係課名			
	現状と課題		・本市では、平成20年に「花巻市まちづくり基本条例」を制定し、まちづくりに関する重要な計画策定時においては、パブリックコメントや意見交換会等を実施し、市政への市民参画を図るとともに、共通の課題解決に向け市民と市との協働によるまちづくりに取り組んでいます。 ・多様化する市民ニーズや地域課題に対応するため、懇談会等の実施により市民の意見を把握し市政への反映に努めています。							

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1) 参画・協働機会の拡充

○重要な計画等の策定時における適切な方法を用いた市民参画の実施

- ・市民参画ガイドラインの運用及び検証
- ・市ホームページや市広報紙による市民参画の指針、ガイドラインの周知及び市民参画予定や結果の周知

○市民と行政による協働事業の推進

- ・協働指針の周知による協働に対する考え方の共有

(2) 広聴の充実

○市政懇談会やまちづくり円卓会議等の実施

- ・市政懇談会、まちづくり円卓会議、特定課題懇談会、市長へのはがきやメール、市長への手紙、政策提案

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合	市政へ意見を述べる機会や場に対する市民の満足度を測る指標として設定する。	出典：市民アンケート（毎年4月実施） 問：あなたは市民が市政へ意見を述べる機会が確保されていると思いますか？（市政懇談会、住民説明会、パブリックコメントの実施など） (1) そう思う (2) どちらかというと思う (3) そう思わない (4) どちらかというと思わない (5) わからない (1) (2) と答えた市民の割合	%	目標値				31.0	33.0	35.0
				実績値	—	28.8	28.6			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	・成果指標の「市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合」については、H24からH25は横ばい状態であるが、他自治体と比べても本市の数値が高いことから、H22から始まったガイドラインに基づく市民参画の成果が表れていると考える。 ・市長へのはがきやメールや手紙も市民にとって、市政へ市民の声を届ける身近な手法として定着してきていると考える。

4 施策を構成する事務事業一覧

[illegible]

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・協働の指針について周知し、市民との共有を図っているが、具体的な市民への働きかけに乏しい。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・市民参画については、より多くの市民の声を聴くためにも、市民参画の予定について更なる周知を図ることが必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・協働の事例についての具体的な紹介を行い、身近なものとしての意識付けを図ること。

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・市民参画による住民との意見交換なども固定された市民の出席となる場合があることから、より多くの市民の出席が必要。

・協働については、十分にその内容が理解されていないところがあることから、事例などの紹介も必要。

(今後の方向性)

- ・市民参画の事案の周知について、より多くの市民に周知する方法の検討を行う。

- ・市民との協働については、庁内でも職員の意識高揚を図り、市民との協働を推進する手法を検討する。